

古文書を読む会学習記録

作成日 平成28年2月14日

開催日	平成28年2月11日	時 間	10:00~11:45						
場 所	金沢地区センター余暇室	出席人数	12名						
講 師	真田雅行氏	作成者	兒玉 仙三						
テーマ	第一学習 赤井村石井家文書②								
概 要	<p>1、御触書(天明元丑九月)</p> <p>*上州辺りで百姓共が大勢申合せ、百姓家等を破壊・焼払い等理不尽な行為に及ぶ。その中には金子・雑物の盗みが有り、百姓共が騒ぎ立てていたが、この騒ぎに乗じて無宿者が加わり、法外の事態となった。領主・地頭よりよく聞き糺、怪しい者は召捕り、公事勘定奉行へ引き渡す事。並びに手懸かりになるもの有れば、これも勘定奉行へ申し出る事。捕捉違いが有っても苦しからず。</p> <p>*今後見逃し、聞き逃しが有ると、村役人が咎を受けるのみならず、領主・地頭までも越度となる。召捕りの手遅れになるのが一番駄目だ。</p> <p>2、当丑年年貢米(天明元年 丑十一月廿四日 北川直右衛門よりの書付)</p> <p>*当丑年の年貢米、江戸金沢両御蔵納の俵数の仰出が下記の如くあった。</p> <table><tr><td>①米三百三十二俵式斗六升三合</td><td>平分村</td></tr><tr><td>内 二百二十俵</td><td>江戸納</td></tr><tr><td>百十二俵二斗六升三合</td><td>金沢納</td></tr></table> <p>②~⑦ 社家分村~宿村の上納米及び合計を上記に準じて記載。(省略)</p> <p>上記の通り上納の事。村々はこれを記し置きこの通達を留め村より返脚の事。</p> <p>3、松平越中守(定信)様の御書付写(寛政二戌二月十三日)</p> <p>*近年諸物価高騰により皆難儀している。是は去る卯年以来の不作により米値段の高値の為である。それ故米穀を原料として作る物は勿論、其の外も米穀を基準として相場が立っており、諸物価が米値段に準じて高下するは余儀無い事。</p> <p>*しかし数年来、米の出来も良くなり、米価も下値になっても、諸物価はその儘で引下げず、又、商品によってはその品の出来不出来によって値段の高下も有る可きだが、値段を変更してない。かかる類は過分の利益を得て不埒だ。</p> <p>*全て、元値よりして下値になる物は、問屋・仲買とも思惑買売の不埒を働かず、相応の利得を以て商売すべし。</p> <p>*この心得をお互いに持たねば、米価を下げても、米価に準じた価格引き下げは出来ない。/(続きは次回学習)</p>			①米三百三十二俵式斗六升三合	平分村	内 二百二十俵	江戸納	百十二俵二斗六升三合	金沢納
①米三百三十二俵式斗六升三合	平分村								
内 二百二十俵	江戸納								
百十二俵二斗六升三合	金沢納								
備 考	参考資料：伊達氏提供「各村家数・人口・高・支配一覧(明治元年10月)」								
次回予定	平成28年2月25日 10:00~12:00 於：金沢区民活動センター 第二学習 奥の細道 ②								